

前回の振り返りと本日举行う内容について

令和5年7月9日

施策リストについて過不足、修正の要否を議論

これまでの意見から想定される施策リスト案をまとめました。

皆様に議論して、内容の確認をお願いします。

水に触れる魅力の再生！ー楽しみ、学びの場ー

12・13 水辺に触れ、楽しむための水質改善（清掃活動などを通じた市民意識の高揚、水浄化対策の実施）

これまでの意見から想定される施策	実現のための取組、ハード整備	実施主体
・ 市民参加の河川清掃活動促進	・ 河川清掃活動イベントの定期的な開催	進める全
・ 市民参加の水質調査実施	・ 市民モニタリング（調査場所を増やし継続的な調査実施）	進める全
・ 水質浄化対策の実施	・ ポンプ場の稼働による水質浄化の実験	市、県
	・ 河川の汚泥浚渫による底質の改善	市、県
	・ 沈船や投棄物の撤去	市、県
	・ 下水道未接続家屋の解消による汚染物質の流入防止	市、県
	・ 自然の力で水質浄化実験（噴水で酸素供給、人工干潟等）	進める全

14・15 自然と生物の保護・復活、自然環境学習の推進

これまでの意見から想定される施策	実現のための取組、ハード整備	実施主体
・ 境川を子供たちの環境学習、環境教育イベントの実施	・ 自然と生物の保護・復活	市、県
	・ 境川排水機場内を防災と川の知識を学ぶ場として活用	市、県
	・ 学校などとの連携の強化	協働
	・ 環境学習、環境教育イベントの実施	協働

施策リスト

実現のための取組、ハード整備を分類

実現のための取組、ハード施策を

「すでにできていること」「これからやりたいこと」に分類してください。

水に触れる魅力の再生！ー楽しみ、学びの場ー		
12・13	水辺に触れ、楽しむための水質改善（清掃活動などを通じた市民意識の高揚、水浄化対策の実施）	
	これまでの意見から想定される施策	実現のための取組、ハード整備
	・ 市民参加の河川清掃活動促進	・ 河川清掃活動イベントの定期的な開催
	・ 市民参加の水質調査実施	・ 市民モニタリング（調査場所を増やし継続的な調査実施）
	・ 水質浄化対策の実施	・ ポンプ場の稼働による水質浄化の実験
		・ 河川の汚泥浚渫による底質の改善
		・ 沈船や投棄物の撤去
		・ 下水道未接続家屋の解消による汚染物質の流入防止
		・ 自然の力で水質浄化実験（噴水で酸素供給、人工干潟等）
14・15	自然と生物の保護・復活、自然環境学習の推進	
	これまでの意見から想定される施策	実現のための取組、ハード整備
	・ 境川を子供たちの環境学習、環境教育イベントの実施	・ 自然と生物の保護・復活
		・ 境川排水機場内を防災と川の知識を学ぶ場として活用
		・ 学校などとの連携の強化
		・ 環境学習、環境教育イベントの実施

実現のための取組、ハード整備

これからやりたいことについて話し合って具体化

- ・分類した「これからやりたいこと」から特に注力したい取組を選ぶ。
- ・選択した取組の実現に向けて何をすべきか（5W1H）を議論する。

進める会のみ議論

水に触れる魅力の再生！－楽しみ、学びの場－		
12・13 水辺に触れ、楽しむための水質改善（清掃活動などを通じた市民意識の高揚、水浄化対策の実施）		
これまでの意見から想定される施策	実現のための取組、ハード整備	実施主体
・ 市民参加の河川清掃活動促進	・ 河川清掃活動イベントの定期的な開催	進める会
・ 市民参加の水質調査実施	・ 市民モニタリング（調査場所を増やし継続的な調査実施）	進める会
・ 水質浄化対策の実施	・ ポンプ場の稼働による水質浄化の実験	市、県
	・ 河川の汚泥浚渫による底質の改善	市、県
	・ 沈船や投棄物の撤去	市、県
	・ 下水道未接続家屋の解消による汚染物質の流入防止	市、県
	・ 自然の力で水質浄化実験（噴水で酸素供給、人工干潟等）	進める会
14・15 自然と生物の保護・復活、自然環境学習の推進		
これまでの意見から想定される施策	実現のための取組、ハード整備	実施主体
・ 境川を子供たちの環境学習、環境教育イベントの実施	・ 自然と生物の保護・復活	市、県
	・ 境川排水機場内を防災と川の知識を学ぶ場として活用	市、県
	・ 学校などとの連携の強化	協働
	・ 環境学習、環境教育イベントの実施	協働

実現のための取組、ハード整備の中から「これからやりたいこと」を選択

水・自然環境

- かつての境川の自然環境と生物の再生をテーマに、郷土博物館などで浦安の歴史を見て、議論して、かつての境川とは何かメンバー間の共通認識を得る。
- 水質改善に向けた水門開放の社会実験を行いたい。
- 市民参加の河川清掃活動をもっと積極的に行いたい。
- 複数箇所では生物調査を行うとともに、境川の生物を観察できる水槽を展示する。
- 自然再生をテーマに市役所前などにある堆砂箇所を活用できないか議論していきたい。

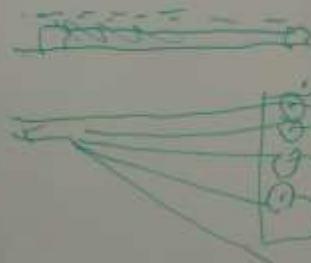
優先順位

水をキレイに!

15+α

かつての境川の
定義

今に比べて!



これまでの意見から想定される施策例

かつての境川の自然環境と生物の再生！～楽しみ、学びの場～		
11. 水質の改善	水質浄化施設の整備	水質浄化施設の整備
12. 緑地の確保を大切にする人をつくる	緑地の確保を大切にする人をつくる	緑地の確保を大切にする人をつくる
13. 自然と生物の回復・保護	自然と生物の回復・保護	自然と生物の回復・保護
14. 自然と生物の回復・保護	自然と生物の回復・保護	自然と生物の回復・保護
15. 境川を子供たちの環境学習・環境教育イベントの場とする	境川を子供たちの環境学習・環境教育イベントの場とする	境川を子供たちの環境学習・環境教育イベントの場とする

定義 水と緑の設計

（水と緑の設計）
→ 水と緑の設計の計画
水と緑の設計の計画

水と緑の設計

→ 水と緑の設計の計画

（ほんの一部です）



水・自然環境

自然環境の再生

協働

柱

かつての境川とは? 王胡んまじり! (定義は)

流れる

沈下4ヶ所
24, 25の所

① 流すの歴史

田んぼ再生

干潟時に魚や生物を観察する

(社会実験)

学習のため → 導く力
を伸ばす

14のサイト

再生に繋げる

13. 進める会がサイト

市と協力してほしい
関心してほしい

市のイベントとして清掃 (グリーンアップ)

グリーンアップ

協働

厚田 → 水田再生

県は金を出さず → 計画に決まらなく!

猫実村、磯江村

水田文化、田んぼの再生

昔の文化 → 何?

→ 復活せよ!

定義しよ

かつての境川とは?

いつ?

埋め立て前, 元町

水質、流れは川が海にのぼる

主体増えると誰かやるのか
か否か?

水が流れてから110年

⇒ 水門の運用について

新ルート
運ぶ

道頓堀川

今の現状を見に行く 協働

市民参加の生物調査

1500年ほど流れてきた

水門の上流
下流

江川橋のところが水質汚い ← 水門の開閉

先端、川〜海

一体にする

水田再生

本日のタイムテーブル（水・自然環境）

(1) 事務局より説明（10分） 09：00～09：10

前回の振り返りと本日举行う内容について

(2) テーマ別議論（60分） 09：10～10：20

09：10～09：15 内訳①（5分） 自己紹介（所属と名前のみ簡潔に）

進行役・書記役・タイムキーパー・発表者を定める

09：15～09：20 内訳②（5分） ソフト施策の中からディスカッションのテーマを決める。

09：20～10：00 内訳③（40分） 意見交換・議論

10：00～10：20 内訳④（20分） 決まった内容をホワイトボードについてまとめる

水辺・水面の利用

- 商業活動の誘致・活性化を図るため、境川公園を活用するのが良いのではないか。
- イベント実施時だけでなく、テーブル、椅子、パラソルなどを設置して人々が集まれるような場所を作りたい。
- 河口の船溜まりでカヌーのスラロームやカヌー大会等のイベントをやりたい。
- 人々の交流を生み出す拠点をつくるため、こうした拠点を示す地図が必要になる。
- 河川だけでなく、道路や公園も含めた一体の計画として、議論の幅を広げていくことが大事ではないか。

本日のタイムテーブル（水辺・水面利用）

(1) 事務局より説明（10分） 10：30～10：40

前回の振り返りと本日举行う内容について

(2) テーマ別議論（60分） 10：40～11：40

10：40～10：45 内訳①（5分） 自己紹介（所属と名前のみ簡潔に）

進行役・書記役・タイムキーパー・発表者を決める

10：45～10：50 内訳②（5分） ソフト施策の中からディスカッションのテーマを決める。

10：50～11：30 内訳③（40分） 意見交換・議論

11：30～11：40 内訳④（10分） 決まった内容をホワイトボードについてまとめる

(3) 発表（10分） 11：40～11：50

※1 テーブル3分程度の発表

歴史・文化

- 元町、中町、新町それぞれの歴史をいかに未来に繋げていくか議論していきたい。
- 半漁半農という歴史があるため漁業だけではなく農業についても伝えたい。
- 漁師町を感じられる古い建物を評価していくことで保存していきたい。
- 川沿いの景観形成のルール作りが重要。
- 川沿いの花壇の整備を行い、維持していくため組織づくりを考えていきたい。
- 中町地域で行っている鯉のぼりのイベントを元町地域にも広げていきたい。
- 既存の活動の拡充にあたり、かわまちづくりの枠組みの中で人材や財源不足といった課題の解決方法について議論していきたい。

本日のタイムテーブル（歴史・文化）

(1) 事務局より説明（10分） 12：00～12：10

前回の振り返りと本日举行う内容について

(2) テーマ別議論（60分） 12：10～13：10

12：10～12：15 内訳①（5分） 自己紹介（所属と名前のみ簡潔に）

進行役・書記役・タイムキーパー・発表者を決める

12：15～12：20 内訳②（5分） ソフト施策の中からディスカッションのテーマを決める。

12：20～13：00 内訳③（40分） 意見交換・議論

13：00～13：10 内訳④（10分） 決まった内容をホワイトボードについてまとめる

(3) 発表（10分） 13：10～13：20

※1 テーブル5分程度の発表